

【防災情報】 前線の影響に伴う降雨による防災情報（第4報：終報）

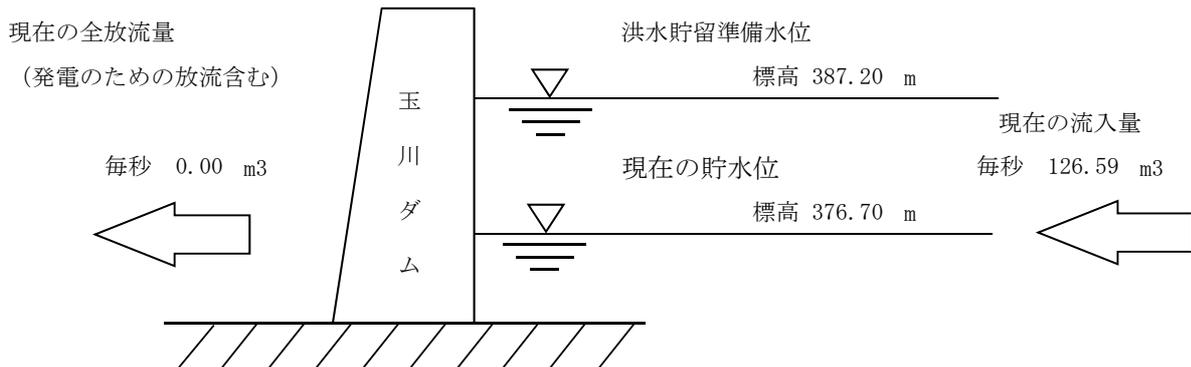
玉川ダム管理所では、前線に伴う降雨により7月25日 7時00分から「災害対策支部」を設置し、防災操作による洪水貯留を行っていましたが、ダムへの流入量が減少し今後まとまった降雨が予想されないことから、17時00分に『注意体制』を解除しました。

なお、今回の玉川ダムによる洪水調節効果（速報値）は次ページのとおりです。

1. 玉川ダムの現在の状況

7月25日 17:00現在のダムの状況は以下のとおりです。

- ・ ダム貯水位： 標高 376.70 m
 - ・ ダム流入量： 毎秒 126.59 m³
 - ・ ダム放流量： 毎秒 0.00 m³ (発電による放流含む)
 - ・ 流域平均時間雨量： 1時間に 0 mm (7月25日 16:00～7月25日 17:00)
 - ・ 流域平均累計雨量： 降り始めから 99 mm (7月24日 12:00～7月25日 17:00)
- ※ダム流域で6時間雨が確認されない場合、流域平均累計雨量が0mm(リセット)となります。



問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所
管理所長 高橋 淳 (内線: 201)
管理係長 小野 一 (内線: 332)

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL: 0187-49-2170 / FAX: 0187-49-2166

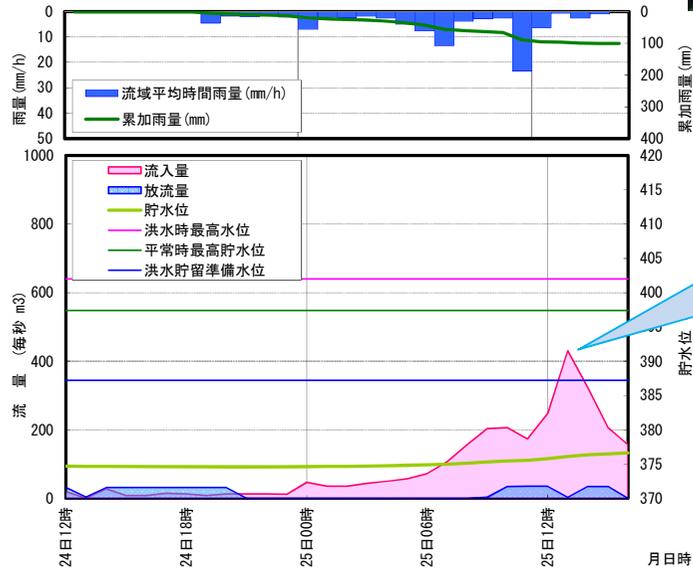
7月25日 前線の影響による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒 430.71m³ (25日12時) を記録しました。25日9時には洪水量 (ダムへの流入量が毎秒200m³) に達し、洪水調節を開始。約371万m³ をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



流域平均時間雨量最大 1時間に 23.5mm
流域平均累加雨量 100.4mm

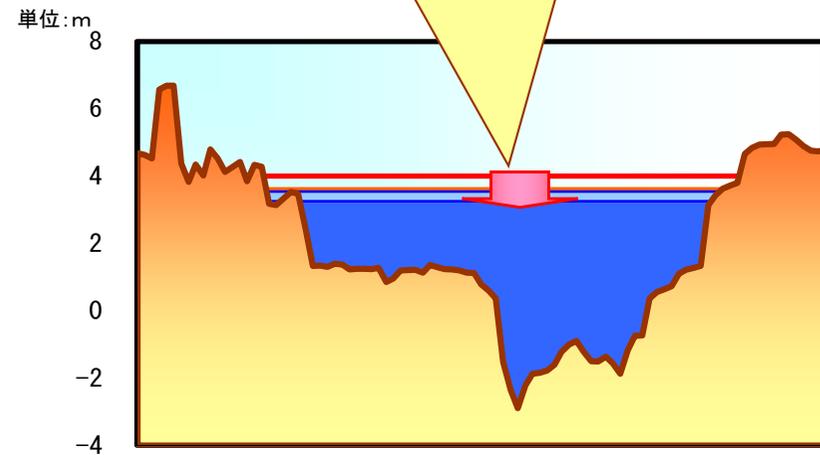
最大流入量 毎秒 430.71m³ (25日12時) のうち、毎秒 約 430m³ (100%) をダムに貯め込みました



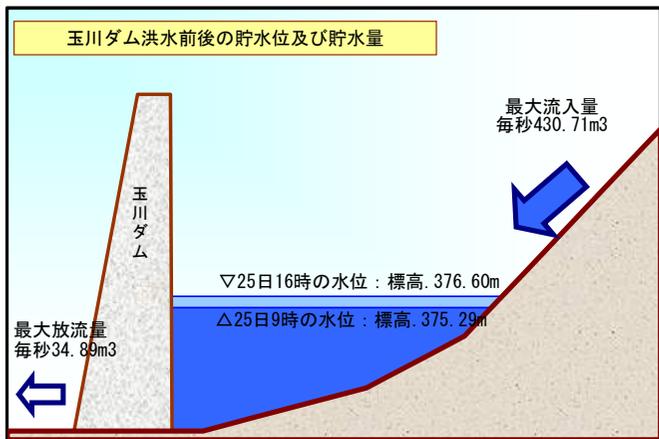
下流河川(大仙市長野地点)での水位低減効果



玉川ダムの洪水調節効果により、長野地点の水位が約0.3m低下



※数値は全て速報値です。



約371万m³の水をダムに貯めました

これは、
東京ドーム 3個分 (124万m³)
セリオン (秋田ポートタワー) 6個分 (約68万m³)
25mプール 7.424杯分 (約500m³) に相当します